

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

堀江小	学校	児童数	219
-----	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.75	19.95	33.10	40.91	43.70	9.51	153.19	20.82	52.77
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.10	19.22	37.17	40.15	33.22	9.97	142.24	11.55	53.84
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

5年生の体力テスト全国平均と比較すると、男子は6種目、女子は3種目全国平均を上回る結果となった。20mシャトルランは、男女共に全国平均から下回る結果となった。体力合計点では、男子は全国平均を0.2点上回り、女子は0.1点下回る結果となった。

次に、質問事項「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答では、「好き」と答えた児童は、男子80.8%（全国73.0%）、女子51.3%（全国54.8%）であった。また、「1週間の総運動時間」では、男子は420分を上回る児童が50.5%、女子は24.8%であった。

以上の結果から、平日に運動する機会が減っており、運動能力の低下につながっていると考えられる。今後は、結果で下回った走や体幹トレーニング等の取組について進める。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、年々児童数が増え、東西合わせて1500人にも上る過大規模校となっている。今後ともに児童一人一人の運動量確保と体力・運動能力の伸長が最大の課題である。

これまでの取組では、高学年でのトップアスリートによる夢授業「フットサル」「バスケットボール」の実施や体育インストラクターによる縄跳びや表現運動の指導、低学年の走り方教室など、各学年児童の興味関心や運動能力向上を目的とした取組を実施した。児童数は年々増加しているが、どの学年も運動場でボール遊びや鬼ごっこ、鉄棒など運動に親しむ児童も増えてきている。

今後も運動機能を向上させるシナプソロジーの実施や児童一人一人の運動量確保・運動能力向上のための系統性をもった取組を進めていく必要がある。来年度も全学年体育講師を招聘する。児童の運動能力の向上と運動の楽しさを味わわせることに重点を置いていく。